

串木野国家石油備蓄基地

施設管理者 : 日本地下石油備蓄株式会社 串木野事業所

施設所在地 : 鹿児島県串木野市西薩町 1 番地

調査見学時期 : 平成 16 年 11 月 4 日

施設概要

串木野国家石油備蓄基地は、日本地下石油備蓄株により日本初の地下石油備蓄プロジェクトとして 1986 年末から逐次工事が開始され、94 年 5 月に基地全体が完成しました。備蓄は地下の岩盤内に空洞を設け、地下水圧により貯蔵原油を封じ込める方式を採用し、備蓄容量は 175 万 kl で、土地の有効利用、環境保全、経済性などに優れています（平成 16 年 10 月現在、168 万 kl の原油を保管）。



串木野石油備蓄基地

国家石油備蓄基地として、水封式地下岩盤タンクが全国で 3 箇所計画され、その 1 つが串木野に建設されました。

岩盤タンク：

備蓄量：175 万 kl

断面積：325m² (幅 18m・高さ 22m)

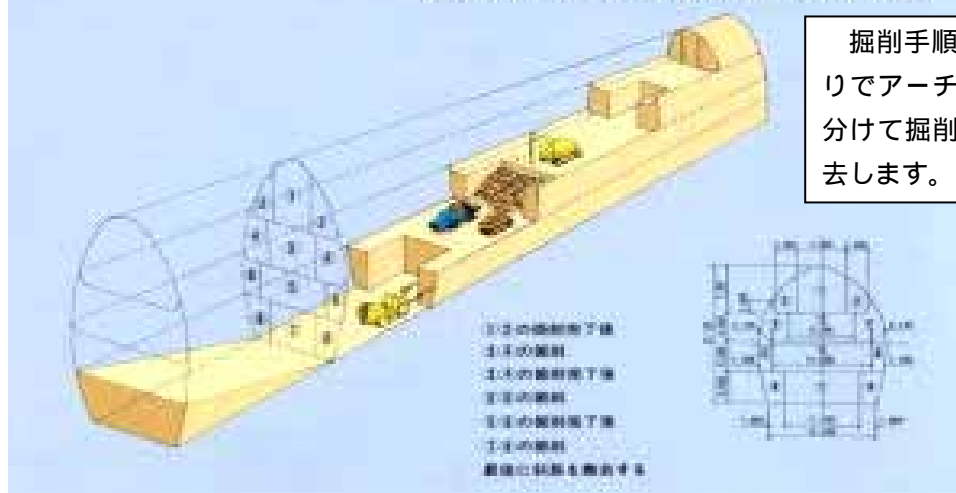
延長：555m×10 本

ズリ処理量：213 万 m³

工 期：'86.12 ~ '94.5

当工事では、車両検知機を利用した信号制御と運行管理システムが導入されました。

●地下岩盤タンク掘削順序概念図



掘削手順は、図のような背割りアーチ部と 3 段のベンチに分けて掘削し、最後に斜路を撤去します。